

平成27年度第1回沖縄県がん診療連携協議会 がん政策部会

日時：平成27年4月1日（木） 18:00～

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員：11名

出席者：6名

埴岡 健一（東京大学公共政策大学院医療政策教育・研究ユニット）、天野 慎介（一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン）、井岡 亜希子（琉大病院 がんセンター）、仲本 奈々（琉大病院 がん登録部会副部会長）、長井 裕（琉球大学医学部附属病院、普及啓発部会長）増田 昌人（琉大病院 がんセンター）

欠席者：5名

東 尚弘（国立がん研究センターがん対策情報センター）、笹良 剛史（友愛会南病院、緩和ケア部会長）、喜舎場 朝雄（沖縄県立中部病院、研修部会長）樋口 美智子（那覇市立病院、相談支援部会長）、佐村 博範（琉球大学医学部附属病院、地域ネットワーク部会長）

陪席者：呉屋 葉子（琉球大学医学部附属病院）

<報告事項>

1. がん政策部会委員について

増田副部会長より、資料1に基づき、がん政策部会委員について変更がないことが報告された。

2. 平成26年度第4回がん政策部会議事要旨

増田副部会長より、資料4に基づき、平成26年度第4回がん政策部会議事要旨について説明があった。

<審議事項>

1. 沖縄県がん対策推進計画（第2次）の中間評価について

増田委員より、沖縄県から、琉大病院がんセンターに沖縄県がん対策推進計画（第2次）の中間評価の委託があり、承諾したことが報告された。

計画としては、今年度中に中間評価をだし、次年度は、第二次計画の修正と第三次計画の提言の形を取りたいと考えている。主体はがんセンターで、がん政策部会やがん診療連携診療連携協議会に出して意見を伺い修正をかけるなど体制づくりにしたいが、評価する委員会が必要かと質問があり、井岡委員より、沖縄県がん対策推進協議会が認めれば、評価されたのではと意見があり、指標、アウトカムの方法論、途中成果物を記録に残して、公平性と透明性を担保することになった。

増田副部会長より、資料4に基づき、沖縄県がん対策推進計画（第2次）と協議会案の「放射線療法・化学療法・手術療法の更なる充実とチーム医療の推進」と「緩和ケア」について、施策・指標マップと指標リストを作成したことが報告され、この作業を全項

目に行ってはどうかと提案があった。

国、沖縄県、協議会、奈良県のがん対策推進計画の分野に沿った、施策・指標マップと指標リストを作成し、出来次第、がん政策部会委員にメールで送ることになった。

また、各部会に関連する施策・指標マップと指標リストを提案し、意見を伺うことになった。

2. 沖縄県の予算編成時期を考慮した協議会における基本審議事項のスケジュール（年間カレンダー）について

増田副部長より、資料8に基づき、沖縄県の予算編成時期を考慮した協議会における基本審議事項のスケジュール（年間カレンダー）について説明があり、5月の協議会に第一次の施策の提案を行い、7月のがん政策部会と幹事会でまとめ、8月の協議会に再度、施策提案を行えば、予算編成時期に間に合うのではないかと提案があった。

埴岡部長より、年間カレンダーを決めるのもいいが、PDCA や政策の吟味を合流していくと、仮の施策・がん種別マップが出来た段階で、中間アウトカムの弱点や医療資源が少ない地域などがわかるので、それに紐づけて提案してはどうか。また、地域医療計画の方で基金ができており、2025年の需給ギャップを直す観点の基金でがん対策でも地域別の需給別ギャップを出して、対応策の立論として提案してはどうかと意見があった。

天野委員より、この年間カレンダーは県のスケジュール感と合っているのかと質問があり、確認し、後日メールで連絡することになった。

3. 次回開催について

7月1日の前後で調整することになった。